

科目名 (Eng)		校外実習 (Extramural Practice)							
担当教員		学科長、4年担任							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		電気工学科	4	通年	必修	1	0	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-3). (D-4). (D-5). (E-4). (F-1). (F-2). (F-3).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3). 4). 5). 6)								
	JABEE基準1 (1) との対応：(d)-(2)-b). (d)-(2)-c). (d)-(2)-d). (e). (f). (g)								
授業の概要と方針		実務を通じて、産業界や自治体、または大学等の研究機関の実情に触れ、認識を深める。							
到達目標		①学校教育で修得している知識・技術が、一般社会における様々な分野で、いかに活用されるのかを理解する。 ②社会人・技術者としての心構えを体得する。							
授業計画									
	(実習先の選択) 4月頃から実習先（企業、地方公共団体、大学等）について学級担任と学生との間で十分に検討し、夏季休業開始頃から実習を始められるようにする。 (実習の期間) 原則として第4学年の夏季休業中に実施する。ただし、やむを得ない事情により夏季休業中に実施できない場合は、他の休業中に実施することができる。 実習の期間は原則として2週間とする。 (実習の実施) 実習先において、学級担任及び指導者の立てた実習計画の下、計測・設計・製図・加工・製作・運転・操作・実験等を行う。 (実習成果の報告) 実習の成果について、本校所定の校外実習報告書にまとめ、学級担任に提出する。 学科ごとに行う報告会で、実習内容と成果を報告する。								
試験について		実施しない。							
評価方法		提出された本校所定の校外実習報告書、校外実習記録票、および校外実習成果報告会での報告をもとに、可否で評価する。							
教科書									
参考書									
関連科目									
履修上の注意		学生本人の特技、将来の希望、または受入側の事情等を勘案して実習先を決めること。 実習中は、実習の目的を十分に認識したうえで、指導者の指示に従い、危険なことがないように実習すること。							